

# 関市小瀬地区の建造物調査

鈴木萌枝

## 1. 概要

関市教育委員会からの委託調査として、岐阜県関市小瀬地域の鶴匠である、足立陽一郎家住宅の建造物調査を行った。

調査日 2018年11月21日

調査者 岸泰子（教員）、小泉朋大・鈴木萌枝・藤澤愛・山本浩生（3回生）、  
鈴木更紗（2回生）、森島一貴（関市教育委員会文化課）

調査概要 野帳作成・実測、写真撮影、調査票作成

## 2. 調査内容

足立陽一郎家住宅の、主屋・鳥屋・作業小屋の平面図・断面図（主屋のみ）・配置図を分担して作成し、その後、それぞれの建造物で実測をおこなった。

現在はこれらの野帳をもとに図面を清書中である。

主屋は入母屋造・銅板葺で、18世紀後期～19世紀前期に建てられたとされている。また、主屋東側はもとは鳥屋（昭和前期まで）であったが、主屋で料理屋を営むことと臭いがあることを理由に、鳥屋自体を外へ外へと移動させ、現在の鳥屋の場所に落ち着いた。

作業小屋は切妻造・棧瓦葺（鳥屋も同様）で昭和前期に建てられたものであり、鳥屋は昭和後期に建てられたものである。



写真1 足立陽一郎家住宅全景



写真2 足立陽一郎家鶴屋全景